

平成23年度 第2回 東京都健康長寿医療センター研究部門倫理委員会 会議概要

開催日時 平成23年8月4日（木） 午後2時5分～6時10分

開催場所 研究所 4階大会議室

出席委員 新開委員長、丸山副委員長、直井委員、河津委員、服部委員、山口委員、小林委員、高橋委員  
田久保委員、河本委員 （出席委員10名／定数10名）

受付番号	新規・迅速	申請者	研究課題名	判定	条件・勧告又は不承認の理由等
24	迅速	安永 正史	高齢者ボランティアと小6 児童の異世代間コミュニケーションの成立と変化	承認	
25	迅速	石井 賢二	びまん性軸索損傷患者における脳ブドウ糖代謝、中枢性ベンゾジアゼピン受容体、アデノシンA1受容体のPET測定による外傷性高次脳機能障害機序の解明	承認	
26	新規	村山 繁雄	アルツハイマー病患者脳における細胞老化因子の発現の検討	承認	共同研究先の倫理委員会の承認が得られたら、申請書及び結果通知を書面で提出すること。
27	新規	村山 繁雄	老化および変性疾患でのヒト小脳の遺伝子発現変化の解明	承認	既に承認済の共同研究先の倫理委員会の申請書及び結果通知を書面で提出すること。
28	新規	大淵 修一	高齢期の健康と生活機能維持のための新たな健診	条件付承認1	協力依頼文書や検診内容を紹介したパンフレットを提出すること。また、縦断研究であることを明記するとともに、4次までのお達者健診の反省を踏まえた研究デザインを作成し、対象者へのメリットを具体的に記載すること。以上の点について、委員長の確認を受けた上で実施すること。
29	新規	藤原 佳典	独居高齢者における自立支援機器利用と生活に関する調査	承認	
30	新規	福嶋 篤	地域リーダーによる自主グループ立ち上げに関する質的研究	承認	
31	新規	栗田 圭一	地域の潜在認知症患者の早期診断に関する調査研究	承認	協力依頼文書の「アセスメント法」という表記が法律のため、方法だと分かる表現にすること。また、アセスメントの意味を分かりやすく表現すること。アセスメントツール（15項目）ができれば提出すること。
32	新規	村山 陽	小中学校におけるキャラバンメイトによる認知症啓発授業の評価	条件付承認1	調査実施について校長の判断だけでは不十分と考えられる。保護者会での説明など同意の取り方を再検討し、申請書を再提出すること。以上の点について、委員長の確認を受けた上で実施すること。
33	新規	鈴木 宏幸	映像を用いた集団版認知機能評価検査の開発と有効性の検討	承認	募集にあたっての説明文書を提出すること。
34	新規	島田 千穂	「反射的習熟プログラム」による終末期ケア体制構築に関する研究	承認	職員に対して参加が自由である旨を明記すること。添付資料の間違い（出席者は、欠席者の「看取りケア確認シート」を預かって）を修正し、再提出すること。
35	新規	田中 雅嗣	抗HIV治療薬の副作用軽減をめざしたピルビン酸ナトリウム療法	条件付承認3	国際医療研究センターの倫理審査を通すこと。また、ビルビン酸の不純度などについて補足資料を提出すること。以上の点について、迅速審査を受け、承認を得た上で実施すること。

受付番号	新規・迅速	申請者	研究課題名	判定	条件・勧告又は不承認の理由等
36	新規	田中 雅嗣	赤外線距離センサーを用いた高齢者の生活リズム・生活機能の定量化	承認	映像は廃棄すること。緊急通報システムではないことを説明文書の冒頭や同意書といった目立つ位置に明記すること。
37	新規	大淵 修一	高齢外来患者の運動実施・運動自己効力感に関する研究	承認	研究協力依頼文書に運動の程度（週1回、1時間程度）がわかる文言を入れること。研究実施にあたりレクリエーション保険に入っている旨を明記すること。
38	新規	吉田 英世	地域高齢者における心身機能の加齢変化に関する長期追跡研究	承認	
39	新規	吉田 英世	地域在住高齢者における要介護化の要因に関する研究	承認	「調査票記入のお願い」文書での「無回答が出ないよう」という表現を工夫すること。調査票の「あんま」という表現は好ましくないため「マッサージ」という表現に変えること。
40	新規	吉田 英世	地域在住高齢者の栄養摂取基準の検討（解析データの取扱に関して）	承認	
41	新規	村山 繁雄	前頭側頭葉変性症および筋萎縮性側索硬化症におけるRNA代謝の解析	承認	
42	新規	金 憲経	認知機能レベルに応じた高齢者への効率的な栄養マネジメントに関する国際比較研究	承認	
43	新規	村山 繁雄	神経変性疾患の、免疫組織学的・免疫化学的研究	承認	共同研究先の倫理委員会の承認が得られたら、申請書及び結果通知を書面で提出すること。
44	新規	村山 繁雄	神経変性疾患におけるトランスポンジンの病的意義に関する研究	承認	共同研究先の倫理委員会の承認が得られたら、申請書及び結果通知を書面で提出すること。